

仕え合う文化をつくろう（教会創立記念日礼拝）

マタイの福音書20章24～28節



教会は、互いに愛し合い、仕え合う者たちの交わりです。それは私たちがビジョンとして掲げるイエスキリストの弟子の姿です。それは、ヨハネが「私たちは互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているのです」(ヨハネ4:7)と語ったように、私たちが神にあって生きることによってはじめて実現できる姿です。そのような交わりをつくりあげていきましょう。

① イエスキリストが愛されたように私たちも生きよう

“人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのと、同じようにしなさい。” 28

“わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。” ヨハネ15:12

② 愛を妨げているものを捨てよう（腹を立てる、横柄なふるまい、権力をふるうなど）

“ほかの十人はこれを聞いて、この二人の兄弟に腹を立てた。そこで、イエスは彼らを呼び寄せて言われた。「あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者たちは人々に対して横柄にふるまい、偉い人たちは人々の上に権力をふるっています。あなたがたの間では、そうであってはなりません。…” 24-

③ この世にあって仕え合う文化をつくっていこう

“…あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、皆に仕える者になりなさい。あなたがたの間で先頭に立ちたいと思う者は、皆のしもべになりなさい。” 26-

聖餐のみことばと祈り

○主の招きのことば

“主イエスは、渡される夜、パンを取り、感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。『これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行ひなさい。』夕食の後、杯をも同じようにして言されました。『この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行ひなさい。』”コリント11:23-25

○悔い改めの祈り

○赦しのみことば

“神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。”ヨハネ4:10

○聖別の祈り